

第一回(平成十六年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

(敬称略)

山崎聰先生選【俳句の部】

【大賞】

黒々と 大黒柱 冬の雷

愛知県

田中絢子

【秀作】

晴の雷 娘に柘植らるる 受胎かな
夜の雷 ゆらりと絵画 砂を吐く
ふんわりと 布団に居たり 春の雷

茨城県 千葉県 埼玉県

苅部貞子 川嶋悦子 縣康子

【佳作】

ひとときは 景に加わる 冬の雷
月山の 貌を崩して 冬の雷
寒雷や むかし廓の 細き路地
鳥海の 雲より出でし 雷一つ
猫の耳 びくりびくりと 寒の雷

東京都 山形県 山形県 山形県 山形県

古谷あやを 高橋善昭 佐藤栄美 菊地徳太郎 姉崎昭

【大賞】

月山の 雨引き連れて はたた神

山形県

神林久子

【秀作】

天と地を 一糸でつなぐ 稲光
寒雷の 五重の塔を 摺るがしぬ
春雷や 彩があふれて 最上川

山形県

大澤英幸 斎藤耕次郎 佐藤幸寿

【佳作】

鯽起し 番屋の板戸 砂を噛む
雪起し とどろく中を 母逝けり
コーヒーの 豆挽きをれば 冬の雷
春雷や もんどりうつて 冬の雷
白山に なべて映せり はたた神
海坂を なべて映せり はたた神

山形県 山形県 山形県 山形県 山形県

栗原文夫 斎藤耕次郎 武田志摩子 飛田正勝 佐藤和子

【選外参考作品】

払暁の 雷一閃や 城下町
遠雷に 手元を急ぐ 鍬仕事
雪起し 間の深まる 月の山
鯉の背の 雷模様 北の国
江沼野を 虫出しの雷 つづけさま
胎児にも 聞こえそなり 冬の雷
雷の 止みて語り部 口ひらき

山形県 山形県 山形県 山形県 山形県

佐藤守 菅原角一 工藤竹治 舟越とみ子 佐藤和子 松田富美枝

【雷害リスク低減コンソーシアム選【俳句の部】】

【雷害リスク低減コンソーシアム賞】
天と地を 一矢でつなぐ 稲光

山形県

大澤英幸

第一回(平成十六年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

(敬称略)

坂野 冬眠 先生 選【川柳の部】

【大賞】

雷を 神の天使と 聞きわける

山形県

黒澤 貞次郎

雷を 落としてひと日 父になる
厳しさと やさしい母の 避雷針
春雷と なら友だちに なつてやる

福島県 山形県 鳥取県

安良 紀男 佐藤 千鶴
門脇 かずお

【秀作】

雷と 仲良くしよう 米うまい
遠雷が いくさの音に なる不安
ゴロピカリ 冬の夜空で コンサート
雷が どどどと冬を 産み落とす
遠雷と なつた頑固な 父の背な

山形県 秋田県 山形県 山形県 山形県

和田 きみ子 小棚木 松静
井上 輝男 富塚 光菊
高橋 葉月

【大賞】

温暖化 雷様も 道迷う

山形県

佐久間 ルミ

【秀作】

避雷針 立てて上司の 部屋へ入り
雷を 落とす親父が いて平和
雷が へそのピアスを狙つてる

富山県 秋田県 広島県

高桑 徳郎 細田 陽炎
掛江 一弘

【佳作】

雷を 落とせぬ親を 子がなじり
雷神が 降りて恵みの 慈雨となる
稻妻を 胸に刹那を 生きている

山形県 山形県 愛知県

中川 晴海 新野 三拍子
田中 純子

【特別賞 (四季賞)】

春雷に 北の大地が 目を覚ます
雷に クモの子散らす 夏の浜
農繁期 一服せよと 雷雨来る
雷を 背にして急ぐ 冬廻い

山形県 山形県 岩手県 愛知県

井上 鈴木 手塚 異呂目
佐藤 若柳 勘三 玲子
阿部 義明 宏一朗

【選外参考作品】

ゴロピカリ 冬の夜空で コンサート
雷の 光を学ぶ 豆学者
雷の 続きにあつた 青い空
雷様の おはじき遊び 雪俵
父の座が 錆びて雷 遠くなる

山形県 山形県 山形県 滋賀県 青森県

高橋 菊地 徳太郎
高橋 紅雨

雷害リスク低減コンソーシアム賞

雷鳴も 遠きあいだは 風情あり

雷害リスク低減コンソーシアム選【川柳の部】

大阪府

宮崎 英明

畠山 弘 先生 選【俳句の部】

【大賞】 春雷を 重ねることに 大人びて

【秀作】 日雷 すつたもんだの 会閉ずる
左遷地の 窓やしきりに 稲光
飛驒のあと 美濃も一撃 雪起し

【佳作】 雷を いつから好きになつたのか

梅雨の雷 頬を重ねに くる子かな
鮒起し 流人の島の たらひ舟
カンバスの 若き自画像 稲光
妻とろて 妻との距離や 春の雷

神林 久子 先生 選【俳句の部】

【大賞】 稲妻に みごもる出羽の 米どころ

【秀作】 地団駄の 子をだまらせし 寒の雷
月山の 耳そばだてる 冬の雷
春の雷 修驗の山を 摆り起す

【佳作】

真夜中の 音が身を刺す 冬の雷
雪起し 太郎の山を 摆らしけり
マニキュアを 塗り粗ねたり 冬の雷
一閃に 天地つなぎし 稲光り
冬の雷 一瀉千里に 羽前羽後

遠藤 みゆき 先生 選【川柳の部】

【大賞】 雷鳴は 強く生きろと 天の檄

【秀作】 マイナスと プラスが愛し 雪起こし

あの時の 雷父の 愛だらう
はたはたが 来るぞ雷 鳴り響く

宮城県 菅原 洋子

茨城県 堀口 富男

佐賀県 原 俊一郎

愛知県 緑川 美木夫

東京都 飯井 純子

兵庫県 川久保 麻美子

千葉県 小野 昇

佐藤 茂三郎

高橋 権三郎

山形県 堀田 三重子

山形県 斎藤 凉

山形県 佐藤 栄美

山形県 加藤 幸子

山形県 菅原 文夫

山形県 陶山 芳子

山形県 三浦 茂子

山形県 阿部 力チ子

山形県 金田 幸運児

福岡県 谷川 三郎

山形県 高橋 葉月

秋田県 佐藤 泉花

(敬称略)

【佳作】

稻妻に 心の襞を 観かれる

雷で 亡き父しのぶ オレも父

耐震の 強度気にして イナビカリ

雷も 日課と思う 里に住み

雷が 早く帰れと 子を叱る

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】**【大賞】**

落雷の おわびへ虹の 置きみやげ

静岡県 堀内 しのぶ

【秀作】
クレヨン画 母を雷様にする三重県 松田 順久
京都府 川崎 康介
新潟県 小川 信子

長男の 僕がいつでも 避雷針

長男の 僕がいつでも 避雷針

雷で 町起こしする ゆとり好き

雷で 町起こしする ゆとり好き

【佳作】
カミナリで 夫婦げんかも どこへやら

偽装ビル これもあやしい 避雷針

雷鳴を 怖がるときの 妻がいい

地震雷 親爺はとうに 抜けている

雷を 落せぬ父の 丸い背な

【特別賞】

海坂藩 韋駄天走り 寒の雷

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】**【特別賞】**

雷と 聞いて浮かんだ 鬼上司

東京都

速水 清孝

山形県

佐藤 栄美

大阪府 田中 良吉
徳島県 片山 康雄
大阪府 渡辺 貞一朗
千葉県 京増 京介
福島県 安良 紀男

(敬称略)

畠山 弘先生 選【俳句の部】

【特選】

父となる 覚束なさに 春の雷

【秀作】

一喝の 禅僧の如 雷去りぬ

火除戸を 叩く寒雷 城下町

春雷の 去りて発車の 繩電車

神奈川県

河西 俊一郎

雷の ような少年 ラガーカナ

奥能登へ 一轍急ぐ 鮒起し

寒雷や 母屋にたぎり 立つ産湯

海鳴りは 父のふところ 鮒起し

春雷や 鉄もつ手の ほの白さ

沖縄県

今岡 久代

山形県

今野 勘左工門

岡山県

岸野 洋介

【佳作】

千葉県 団野 英二

石川県 濑川 いく雄

山梨県 古屋 レイ子

山形県 原田 れい子

広島県 甲斐 道人

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【特選】

世のために ぼくもなりたい 避雷針

【秀作】

かくすのは 昔はおへそ 今パソコン

時々は おとして欲しい パパ雷

雷に 打たれたような 巡り会い

千葉県

鈴木 正実

東京都

藤川 弥生

愛媛県

菊池 幸恵

福岡県

平井 志保

神奈川県

星野 利佳

岡山県

岸野 洋介

茨城県

薄木 博夫

石川県

瀬川 いく雄

大阪府

沖胡 博雅

【佳作】

たとえれば パパは霧雨 ママ雷雨

百雷に 打たれ一人 前になり

雷が 縁でふたりの 今がある

国宝に なんと不粹な 避雷針

雷も へそ出しルックにや あきれ果て

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【特選】

春雷の こだま農魂 ゆり起こす

【秀作】

遠雷に 妻子を偲ぶ 左遷の地
川の字を 雷さんが 1にする
雷か 妻のいびきか 夢うつつ

山形県

新野 三拍子

岡山県 岸野 洋介
埼玉県 佐川 二郎
東京都 緑川 美和子

(敬称略)

【佳作】

様変り 地震雷 キレる子等
 雷神の 虎パンさえも 輸入品
 雷鳴を 敵機の攻めと 目覚む歳
 雷を 怖れ会話の うそまこと
 雷神の 遊びし跡か 俵雪
 雷雨でも 日柄がいいねと いう挙式
 自信あり 雷親父が こなす家事

山形県 鶴見 文女
 新潟県 佐々木 徳蔵
 愛知県 山本 四雄
 兵庫県 中本 義信
 山形県 齋野 洋
 神奈川県 奥田 綾子
 東京都 今井 東彦

鶴見 文女
 佐々木 徳蔵
 山本 四雄
 中本 義信
 齋野 洋
 奥田 綾子
 東彦

第四回(平成十九年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト

受賞作品集 一

(敬称略)

畠山 弘 先生 選【俳句の部】

【大賞】

入院の 夜の稻妻 吉として

東京都

石塚 洋子

【秀作】

稻妻も 書き込む土間の 農曆
遠雷や 街に見かけし 旧師の背
北窓に 北の稻妻 稿を継ぐ

茨城県
石川県
奈良県

飯吉 喜文
前川 久宜
杉田 菜穂

【佳作】

生まれ直ぐ 雷鳴に会う 我が子かな
遠雷や 君にあいたく なりし午後
雷光を 沖に空手の 寒稽古
子離れの 時をせかしぬ 春の雷
雷兆す 実験室の 午後6時

大阪府
兵庫県
山形県
兵庫県
奈良県

樋口 貞江
西沢 喜文
佐藤 栄美
鈴木 清恵
杉田 菜穂

【大賞】

このごろの 雷へソより 家電好き

東京都

織山 顕子

【秀作】

雷が 止んでだだちやの 種を蒔く
雷鳴 にシイタケ菌が 目を覚まし
雷に 蜘蛛の子散らす 運動場
雷も 地域によって 格差みせ
雷を 落としてみれば 返り討ち

群馬県
山形県
新潟県
三重県
神奈川県

金井 健治
飛田 文子
川合 笑迷
小林 秀夫
浦上 昌季

【佳作】

雷も 慣れて地域の 輪に入る
雷光を こやしに育つ 県産米
雷神が 屏風で躍る 夏の寺
雷も 地域によって 格差みせ
雷を 落としてみれば 返り討ち

滋賀県
新潟県
岡山県
香川県

森田 幸磨
平井 音子
西元 満晴
中山 善博
佐藤 くにお

【秀作】

遠雷を 合図にそつと 指つなぐ

愛知県

早川 矢寿子

稻びかり 妻の横顔 サスペンス
一周忌 雷の音 父の声
稻妻に 今年の米の 出来を聞き

滋賀県
新潟県
岡山県
香川県

森田 幸磨
平井 音子
西元 満晴
中山 善博
佐藤 くにお

(敬称略)

【佳作】

おお来たか 老いて雷 孫を抱き
 年金へ 怒る雷 鳴り止まず
 子育ては 時には愛の 雷も
 雷で 知つた光速 音速を
 出る杭はいつも雷雨の 中に立つ
 雷も 取れぬメタボの へこみ臍

山形県 菅原 角一
 福島県 宇野 邦久
 大阪府 西滝 一彦
 千葉県 相原 秀哉
 東京都 本田 いづみ
 神奈川県 藤井 学

第五回(平成二十年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト

受賞作品集 一

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

雷一閃 雪降る町の かがやける

山形県

佐藤 守

【秀作】

落雷を 千年避けて 阿弥陀堂
雷鳴の 遠のいてゆく 死後の处置
生れ来て 幾たび吾れに 稲光

神奈川県

宮城県

阿部 浩
佐々木 武

【佳作】

雷や 少年後 向きに泣く
音もなき 稲妻の矢に 励まされ
春雷を ふるさとに聞く 安堵感
出羽三山 雪かみなりの 研かな
地響きの 如く到来 雪雷

鳥取県

石賀 太

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

雷を 落してやろか 永田町

千葉県

鶴志田 淳一

【秀作】

雷を やつつけに行く 三輪車
雷を 父の愛だと 悟る歳
ゴルフ馬鹿 少し休めと 雷鳴りさん
雷に 泣いた私も もう大人

鳥取県

澤田 はじめ

和歌山県

清水 俊広

【佳作】

政治家に 雷落とす 投票日
雷が 徳利を増やす 繩のれん
庄内っ子 雷さんも 子守り歌
遠雷に 空爆の夜 語る母

熊本県

有田 知樹

神奈川県

岡部 晋一

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

政治家に 雷落とす 投票日

山形県

山本 順一

【秀作】

雷を ひとつもおとせぬ 失業中
雷鳴は 庄内米の 子守歌
雷を 父の愛だと 悟る歳

埼玉県
山形県
熊本県

川名 好之
高橋 和子
有田 知樹

(敬称略)

【佳作】

かみなりの 夜だけ母を ひとりじめ

遠雷に 空爆の夜 語る母

雷鳥も 北へ飛びたい 温暖化

支持率の グラフが今日も 稲光

雷鳴よ 彼のサヨナラ かき消して

米発の 雷鳴ひびく 児町

愛知県

大分県

山形県

大阪府

京都府

愛知県

井上 真弓

坂本 洋一

茨木 芳士

井内 雅仁

谷 ゆかり

深海 和人

第六回(平成二十一年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

停電と 僕と家族と 稲光

三重県

森下 雄太

釘一本 つかはぬ枢 はたた神
遠雷に つまづくほどに 老いている
田畠の 息吹きかえす 雷雨かな

東京都 神奈川県 東京都

曾根 新五郎 北村 純一
権守 いくを

【秀作】

雷様(らいさま)の 白金の跡 風涼し
こわいけど なんかきれいだ いなづまは
落雷や 一本杉の 潔し
雪が降り 雷も降る 地に生きる
劇雷の 港を船は 漁に出づ

栃木県 山形県 宮城県 神奈川県 岩手県

酒井 早苗 すずき いちご
松山 智美 阿部 浩 沢内 健志

【大賞】

停電中 「これ節約?」と 子に聞かれ

愛知県

長谷川 知子

【佳作】

午前様 ケーキが妻への 避雷針
稻妻に 主役をゆする 夏花火
雷が 夫婦喧嘩の 鞄納め

栃木県 福島県 石川県

浜田 あゆ美 高橋 正義
小林 功 福島 敏朗 南出 恵美子

【佳作】

落雷の 気配感じる 朝帰り
雷鳴に 娘が隠す ヘソピアス
官僚は 雷真似て 天下り
雷で 入力データ 泡と消え
孫にだけ 雷落ちぬ 七不思議

千葉県 千葉県 神奈川県 東京都 富山県

梶 政幸 小林 功 高橋 正義
福島 敏朗 久保 紀子 加藤 信子

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

かみなりは 出羽三山の 子守唄

山形県

斎藤 勉

【秀作】

親父より ジワジワ嫁の 静電気
不和雷同 政治家さんの 得意技
唐がらし 食べて口から 稲光

佐賀県 千葉県 東京都

大塚 千晶 高橋 慎一
土生 洋子

(敬称略)

【佳作】

ゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロゴロ

雷様は 寿命一瞬 わしゃ米寿

ピカッとゴロッ 焦らし上手な あの数秒

へソじやなく 脂肪も取つてと 雷に

稻光 彼に抱きつく 時謀る

大阪府

山形県

神奈川県

埼玉県

村上 真一

松田 哲美

清水 努

中村 信夫

松永 誠

第七回(平成二十二年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】 稲光 ざくりと街を 縫い合わせ

【秀作】 雷が 収まるまでの 淡い恋
遠雷や 泥染めの黒 深々と
さまよえる 見知らぬ町や 雷時雨 (らいしぐれ)

茨城県 五十嵐 裕治

茨城県 大槻 けい

山形県 酒井 浩平

石川県 神馬 せつを

山口県 登坂 洋子

山形県 井田 寿一

滋賀県 野口 陽子

埼玉県 木本 康雄

大阪府 竹重 登美子

福島県 登坂 洋子

千葉県 井田 寿一

神奈川県 野口 陽子

愛媛県 木本 康雄

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】 東京に 大避雷針 またひとつ

【佳作】 春雷を 溫かく聞く 回復期

いかづちや 即身仮の 後ろより

次に来る 雷を待つ 腕まくら

稻妻に 耳をふさいで じつと待つ

雪起し 古き官舎の 二重窓

【佳作】 定年で カミナリ親父 ゴロゴロし

はたた神 去りて夫婦の 飲み直し

残業も 落雷の音で ログオフし

新妻が 年月を経て 稲妻に

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】 新タワー 日本一の 避雷針

千葉県 叶 昌彦

【秀作】 雷に 授業脱線 理科教師

新妻も 10年経てば 稲妻に

最近は 雷オヤジも 工コ仕様

(敬称略)

【佳作】

稻妻に 節電叫べど 効果なし

虹二輪 雷シヨーの 幕を引き

躰出し娘 (こ) 多すぎ雷 選びかね

落雷が 恋し懐かし 七回忌

父ゴロリ 日曜の朝 母ピカリ

東京都

富山県

香川県

千葉県

静岡県

本間 哲

平田 清作

玉井 一郎

梶 政幸

田中 華子

第八回(平成二十三年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

一

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

寒雷や 善人ころぶ 坂の町

埼玉県

鈴木 良二

【秀作】

天の声 荒ぶる雷の 如くなり
雷の 怒りに凍てる 夜一人
ふる里の 路地が見えるよ 稲光

山形県

小野木 文子

【佳作】

駅を出る 一人一人に 稲妻す
雷鳴や 胸に飛び込む 人も無し
雷神の 乗り忘れたる 雲切れる
稻妻の 支離滅裂の 美しさ
遠雷に 想いの往き来 する夜明け

兵庫県

岸野 孝彦

【佳作】

天の声 荒ぶる雷の 如くなり
雷の 怒りに凍てる 夜一人
ふる里の 路地が見えるよ 稲光

鹿児島県

川間 佳俊

【佳作】

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

静岡県

大江 豊

【大賞】

日本に 強く生きろと 稲光

神奈川県

印南 房吉

【秀作】

避雷より 工コで切つてる 主電源
カミナリに 一步も引かぬ 反抗期
雷鳴に 茶の間集まり 増す絆

兵庫県

岸野 孝彦

【佳作】

雷を 又落としてよ 空の父
落雷で 無断節電 実施され
雷が 生きろと鳴らす 大太鼓
尻尾さえ 付ければ電気に 化けるのに
カミナリも データを狙う I T化

埼玉県

山崎 秀雄

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】

東北の 鎮魂遠雷 音やさし

山口県

竹重 满夫

【秀作】

農業を 始め雷雨は 友になり
雷に 除染は要らぬ 去れば虹
新講座 「パパの雷 落とし方」

東京都
兵庫県
愛知県

田崎 信
岡本 千寿
石原 ゆみ子

(敬称略)

【佳作】

墓洗う 雷おやじ 恋しくて
 落ちるなど 雷拝む 受験生
 古希ふたり 夜陰の雷光に しがみつき
 ほめ言葉? 君は我が課の 避雷神
 雷を 落とせば教師 吊し上げ

山形県 鈴木 異呂目

千葉県 吉井 省一

静岡県 湯浅 弘

大阪府 堀田 欽一

青森県 吉田 保雄

第九回(平成二十四年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】 復興の 小屋打ち叩く 雷雨かな

【秀作】 稲妻や 臨終の髪 なでし夜

寒雷や 雪のふるまち 鶴岡市

東京都

中村 宏汀

静岡県

伊東 静雄

宮城県

西澤 勝

兵庫県

岸野 孝彦

大阪府

橋本 薫

島根県

盛田 みち子

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】 落雷に スマート都市は 弱音吐く

山形県

加藤 正子

【秀作】 稲妻の つや姫睦み よく実のり
寄らないで! 大樹の陰に 側撃雷

山形県

菅原 道成

【佳作】 雷光が 瓦礎の山を 照らして
地に落ちし 親父の権威と 雷と
冬稻妻 見とれてこけた 雪の道

宮城県

昆野 克恵

大阪府

木村 達雄

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

【大賞】 雷と 呼ばれた父を 介護する

宮城県

向田 真智子

【秀作】 はたた神 一筆虹を 描き去る
ミーティング 一発雷の 後の闇

愛知県

野口 和夫

福岡県

木村 徹

【佳作】 落ちどころ 知るは神なり(カミナリ) 運(雲)しだい
海雷が 復興の闇 照らして
稻光 浴びてつや姫 豊穰祭

東京都

重原 勝

岩手県

木村 徹

東京都

佐助

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】 親殺し 子殺しを擊て はたた神

【秀作】 雷鳴や 辞令一通 海の街
稻妻や 被災地の田は 草に満つ

【佳作】 寒雷や 微動だにせぬ 檻の虎
鶴岡や 光る白鳥 いなつるび
病むことも 生きてる証 冬の雷

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】 春雷が 散らす桜と 酔い気分

【秀作】 朝帰り 雷様の おもてなし
雷が 土下座の頭上 通りすぎ

【佳作】 学校に カミナリ無くした モンスター
カミナリが 千年猛暑に 虹を呼ぶ
雷は 寄らば大樹が 仇となり

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

新潟県

漆間 祥庭

山形県
福島県清野 佐知子
水上 悅子東京都
宮城県
東京都長峯 雄平
西澤 勝
石川 昇

岐阜県

細江 美幸

京都府
徳島県小見 信雄
大釜 洋志三重県
神奈川県松田 清司
小菅 一郎

埼玉県

中野 弘樹

静岡県

山口 平一郎

新潟県
島根県
神奈川県佐藤 静生
渡会 克男

【佳作】 大雷鳴 抱きつくチャンス 今でしょ
停電の 夜は雷 観るも良し
雷を 落として見つけた 僕の位置

阿部 まさひこ
山藤 一雄

【選外参考作品】
地震 雷 核 有事

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】
はじめての 遠雷赤子の 思案顔

【秀作】
一瞬に 山生き返る 夜の雷
日雷 犬と老人 立ち止まる

【佳作】
隅っこ 我さえ照らす 稲光
犬逝きて そこが空白 春の雷
春雷や 夢に来し人 見失ふ

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】
妻が言う 自身力ミナリ 家事オヤジ

【秀作】
春雷は 門出を祝う 花火かな

【佳作】
雷鳴も 聞こえぬ女子会 50代

【秀作】
稻光 スマホ片手に 撮影会

【佳作】
宇宙人 地球撮るのに 稲光

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳の部】

東京都 竹中 惠子

宮崎県 近藤 國法

埼玉県 鈴木 良二

熊本県 斉田 美子

兵庫県 西田 敏之

香川県 田岡 弘

北海道 工藤 律夫

京都府 岸野 由夏里

茨城県 藤井 きい子

神奈川県 生悦住 正志

京都府 岡田 弘子

石川県 藤村 容子

東京都 前田 守康

千葉県 志村 紀昭

京都府 吉村 憲彦

千葉県 橋本 明子

埼玉県 後藤 幸雄

北海道 荒木 光弘

長野県 田中 實

山形県 雷光り ほどほど欲しい 米価格

暁に 雷雨止みて 産の声

雷に 寄らば大樹は 命とり

雷が 雲ふみはずし 秋の幸

【選外参考作品】

オレオレに 雷落とす お婆ちゃん
天と地を 引き裂き結ぶ 龍の舞
究極の マゾヒストだね 避雷針

【大賞】
雷鳴だ だめよだめだめ 木の下は

雷を 落としたいけど 空気よむ
つや姫も 頭を垂れる 稲の殿

東京都 西山 昌夫

千葉県 前田 守康

愛知県 志村 紀昭

京都府 吉村 憲彦

埼玉県 橋本 明子

北海道 後藤 幸雄

東京都 荒木 光弘

長野県 田中 實

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

落雷の 火柱立ちし 羽黒山

東京都

佐野 由紀子

【秀作】

ころがしておく 赤んぼも 雷も
雷光や 遠くシリアの 空想ふ

愛媛県
神奈川県

半木 るん
久保田 聰

【佳作】

雷や 少し哀しい 父の杖
雷の夜 しづかに別れ 決めてをり
遠雷や 牧舎に戻す 子連れ馬

愛媛県
埼玉県

岡村 理江
新海 あぐり

【大賞】

抱きしめる 次光つたら 抱きしめる

広島県

金廣 光枝

【秀作】

稻妻級 育児に仕事 母は神なり
稻光り 蔵を照らして 美酒巡り

埼玉県

梅本 聖枝

【佳作】

雷も 平和を祈り 光るのみ
宇宙から 見れば地球の オーラかな
雷鳴に ヘソよりパソコン 隠す子ら

兵庫県

岸野 孝彦

【大賞】

天と地を 結ぶひとつのか 光の矢

新潟県

佐藤 芽衣

【秀作】

テスト前 ゲームにゴロゴロ 母ドッカーン
暗闇の 中に一匹 金の竜

山形県
USA

五十嵐 幹仁
滝沢 奈津妃

【佳作】

火事の次 おやじの雷 まじこわい
雷が 落ちるほこ先 いつもぼく
ゴロゴロは 冬のしらせと じじは言う

鳥取県
東京都
山形県

渡辺 虎太郎
中村 治樹
五十嵐 堅進

第十二回(平成二十七年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト 受賞作品集 二

(敬称略)

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳特別テーマの部】

【大賞】

万雷の 拍手でかわす 祝い酒

神奈川県

井上 靖

【秀作】

盗み食い 母の雷 また落ちる
看護師が 雷落とす 隠れ食い

福岡県
大分県

富重 複徳
川野 誠

【佳作】

TPP 米から日本に 雷おこし
二日酔い 胃に脳味噌に はたたがみ
雷が 嘴る度だだちや 味を増す

北海道
東京都
新潟県

山本 樹
土生 洋子
川合 笑迷

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

背なの子の 足をぴくりと 日雷

【秀作】

耳に指 入れて待つなり 次の雷
天を衝く孤高の龍や冬の雷

【佳作】

イヤホンを はずす青年 稲光
立ち給ふ 雷雨の中の 芭蕉句碑
雷鳴に 背中押されて 父帰る

【大賞】

雷を泣いて落とした恩師あり

茨城県	東京都	渡邊 大智
兵庫県	神奈川県	大塚 高史
神奈川県	山形県	改発 利佳
神奈川県	群馬県	加藤 正子
池田 功	向原 康夫	池田 功
岡山県	吉住 寛	今野 涼人
徳島県	樺本 一美	海老原 順子
栃木県	村上 洋子	

【佳作】

守り抜く 父はわが家の 避雷針
祖母の膝 四人の孫の 避雷針
雷の 橋 雷くれた プレゼント

【秀作】

波渡岬 小波渡で榮えた 雷屋
祖母の膝 四人の孫の 避雷針
虹の橋 雷くれた プレゼント

【雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

【大賞】

稻光 母が乙女に 戻る時

【秀作】

進まない 雷のせい 宿題が
雷だ 何秒後かな 一・二・三

【佳作】

おこられる ぼくは怒りの 避雷針
かみなりは いろいろで つよさわけ
雷と母 どちらも態度が ゴロゴロ変わる

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】
雷鳴に子へ駆け戻る母ゴリラ

茨城県

宮崎 江美

【秀作】

満天の星満つ宵の稻光

旧友は寒雷のみの故郷かな

高橋 まりえ

北海道

足立 敏郎

大阪府

樋口 嘉一

宮城県

丸山 千代子

神奈川県

北村 純一

大阪府

伊藤 利晴

東京都

田中 勝

富山県

上野 利晴

神奈川県

伊藤 のり子

【佳作】
雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】
ヘッドホン 雷避けて 「嵐」聞く

大阪府

山崎 秀雄

岐阜県

上垣 哲也

兵庫県

川村 玲子

埼玉県

平林 莫花

山形県

遠藤 駿

大阪府

佐藤 夢那

【秀作】
雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

岐阜県

佐藤 夢那

【大賞】
うそつかれ 心の中で 落雷す

山形県

佐藤 夢那

【秀作】
勇気出し 話したけれど 地雷ふむ
ビリビリと おこる母の目 かみなり目

山形県

佐藤 夢那

【佳作】
雷で ママがかくした 二段腹

山形県

佐藤 夢那

ゴロピカワソ 犬とかみなり 大合唱

第十五回(平成三十年度) 「雷」俳句・川柳コンテスト

受賞作品集

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

雷鳴に おびえる夫を 抱きしめる

【秀作】

迅雷に パソコン閉ざす 夜の講座

稻妻や 岩場を攀 (よ) づる 修驗僧

【佳作】

雷 (らい) 千里 伏龍となる 黄河かな

雪雷や 幾万の波 能登を打つ

稻妻や 子らコンビニの中に入り

雷害リスク低減コンソーシアム 選【川柳の部】

【大賞】

定年後雷やめて家事親父

【秀作】

雷を 宇宙から見る 近未来

雨宿り 雷門は 多国籍

【佳作】

午後3時 もくもくタイム 雲が湧く

ハロウインに紛れ込んでるはたたか神

カミナリと 親父の距離は遠くなり

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】

兵庫県

亀田 恵美子

神奈川県

合志 義文

大分県

小野 智輔

長野県

吉澤 道夫

滋賀県

井田 あさみ

神奈川県

改発 利佳

埼玉県

横手 敏夫

埼玉県

山下 修身

埼玉県

本田 しおん

静岡県

中野 弘樹

東京都

海老原 順子

茨城県

瀧川 憲洋

鹿児島県

秋山 明葉

【大賞】

雷は 季節を変える 送信機

山形県

長谷川 蒼空

【秀作】

雷だ バット置き去り 雨にぬれ
かみなりの 音でシーンとなる家族

山形県
山形県
山形県
山形県

山形県

長谷川 蒼空

【佳作】

僕の家 雷警報 繼続中
雷神と 風神たたかい 空光る
雷が なつてもんん気 家の中

松田 涼史
明賀 大瑠
佐藤 悠奈

山形県
山形県
山形県
山形県

松田 涼史
明賀 大瑠
佐藤 悠奈

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】

【大賞】

いかづちや光と闇の最上川

山形県

齊藤 真人

【秀作】

稻光り 一人田に在る 翁かな
手話の指激し雷雨の近づきぬ

新潟県
愛知県

阿部 昌彦
斎藤 浩美

【佳作】

稻妻に動ぜず歩む親子猿
落雷で妻の切りたる長電話
天を斬る 銀の光刃 さらば梅雨

奈良県
千葉県

堀ノ内 和夫
林 雅則

【大賞】

リチウムに 万雷の拍手 蓄える

神奈川県

改発 利佳

【秀作】

困(こま)ります! 地震雷(じしんかみなり) ギャグ親父(おやじ)

兵庫県
北海道

徳岡 治美
嶋崎 登

【佳作】

温暖化 雷落とした 女子高生
落雷や 数万ボルトの 天体ショーア
雷を知るAMのラジオから

東京都
千葉県
愛知県

吉岡 敏郎
香取 義和
幅 茂

【大賞】

ほうぼうに 光る稻づま 根のごとく
おりてくる 稲づまに乗つて 神様が
落雷の 歴史感じる 金ぼう山

山形県

佐藤 彦摩魯

【佳作】

かくれんぼ 場所が分からず 稲光
何本かな? いなづまの線 觀察だ
稻光 豊作願い 立つ祖父や

茨城県
山口県
山形県

川本 樹
鈴木 祐馬
柿崎 日向

【佳作】

かくれんぼ 場所が分からず 稲光
何本かな? いなづまの線 觀察だ
稻光 豊作願い 立つ祖父や

茨城県
山口県
山形県

川本 樹
鈴木 祐馬
柿崎 日向

(敬称略)

黒田 杏子 先生 選【俳句の部】**【大賞】**

雷飲んで 大鯉深く沈みけり

【秀作】

一遍の 右足一步 寒の雷

【佳作】

轟然と 庄内平野 渡る雷

【大賞】

湯殿山 稲妻のたび 仁王立ち

【佳作】

雷や 大声になる 子守唄

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳一般の部】**【大賞】**

補聴器を つけて雷 しかと聞く

【秀作】

リモートの 上司のかみなり 画面消す

【佳作】

コロナ禍は 一夜の雷雨 人類史

【大賞】

球界に 稲妻走る 二刀流

【秀作】

地雷踏み 妻とはいつもの デイスタンス

【佳作】

無観客 それでも雷鳴 かき鳴らし

雷文化都市構築推進委員会 選【川柳小中学生の部】**【大賞】**

落雷し 半狂乱の テレワーカ

【秀作】

雷の 発生源は 通知表

【佳作】

北向くと 空にひび割れ 雷か

【佳作】

みてみたい かみなりおとせる おとうさん

【秀作】

雷は ゴロゴロしてると 落ちてくる

静岡県

野月 真人

神奈川県

河本 朋広

千葉県

佐川 浩昭

東京都

羽住 博之

島根県

寺津 豪佐

改発 利佳

竹澤 聰

神奈川県

坂本 洋一

高橋 洋子

東 明彦

大分県

札場 靖人

大阪府

前岡 里奈

東京都

高橋 聖花

宮城県

高橋 國分

東京都

松下 心愛

徳島県

崎田 朔久

山形県

真羽

兵庫県

兵庫県